



みなとみらい水素プロジェクト

プロジェクト概要説明

横浜市温暖化対策統括本部プロジェクト推進課

令和5年8月8日（火）

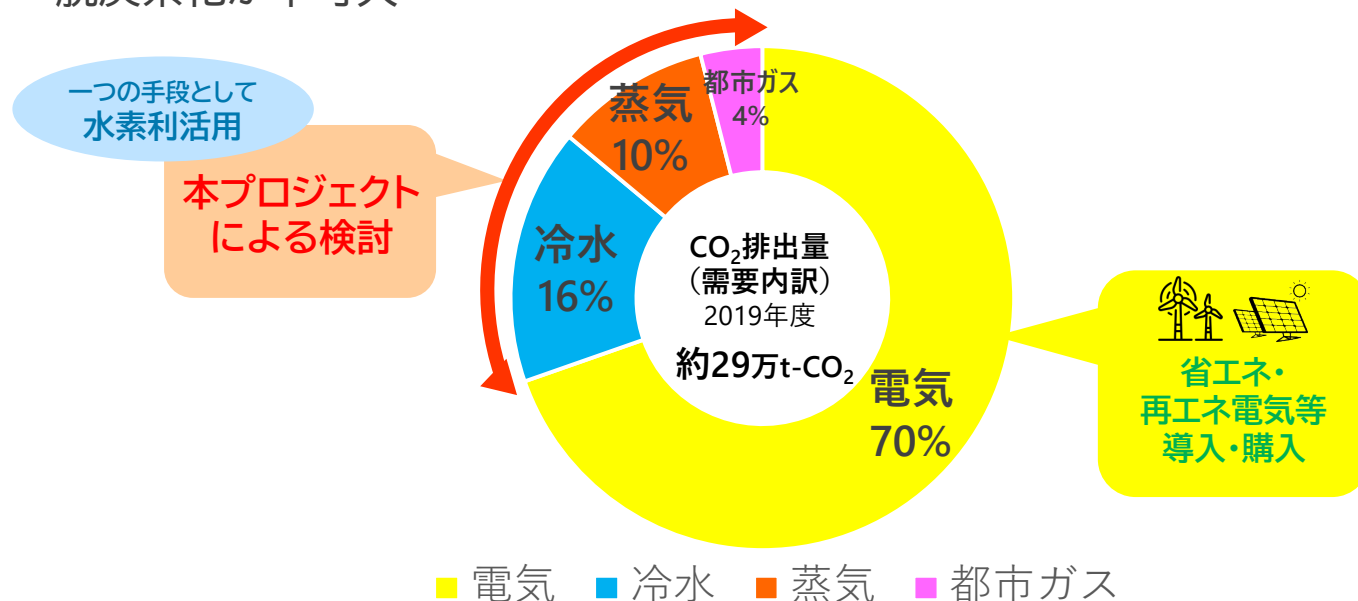
明日をひらく都市
OPEN × PIONEER

みなとみらい21地区のCO2排出量

◎みなとみらい21地区で排出されているCO2は 約29万t／年

◎排出するCO2の約7割が電気、約3割が熱の使用に起因

◎まち全体で、2050年にカーボンニュートラルを実現するためには、電気と熱の双方の脱炭素化が不可欠



みなとみらい21地区の脱炭素化の取組み



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

◎みなとみらい21地区※は環境省の「**脱炭素先行地域**」に選定
→2030年度までの電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロの実現に向けて取組中

※参考35施設（令和5年6月現在）

◎熱の脱炭素化に向けて、「**みなとみらい水素プロジェクト**」を立ち上げ、
次世代エネルギーとして期待される水素の利活用に向けた調査、検討を進めます。



みなとみらい水素プロジェクト



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

2023年7月、日本最大規模の地域熱供給が展開されている「みなとみらい21地区」を中心に、主に「**熱の脱炭素化**」に向け市街地での水素活用の可能性について**調査、検討**を行い、水素社会を見据えたまちづくりを推進することを目的として設立



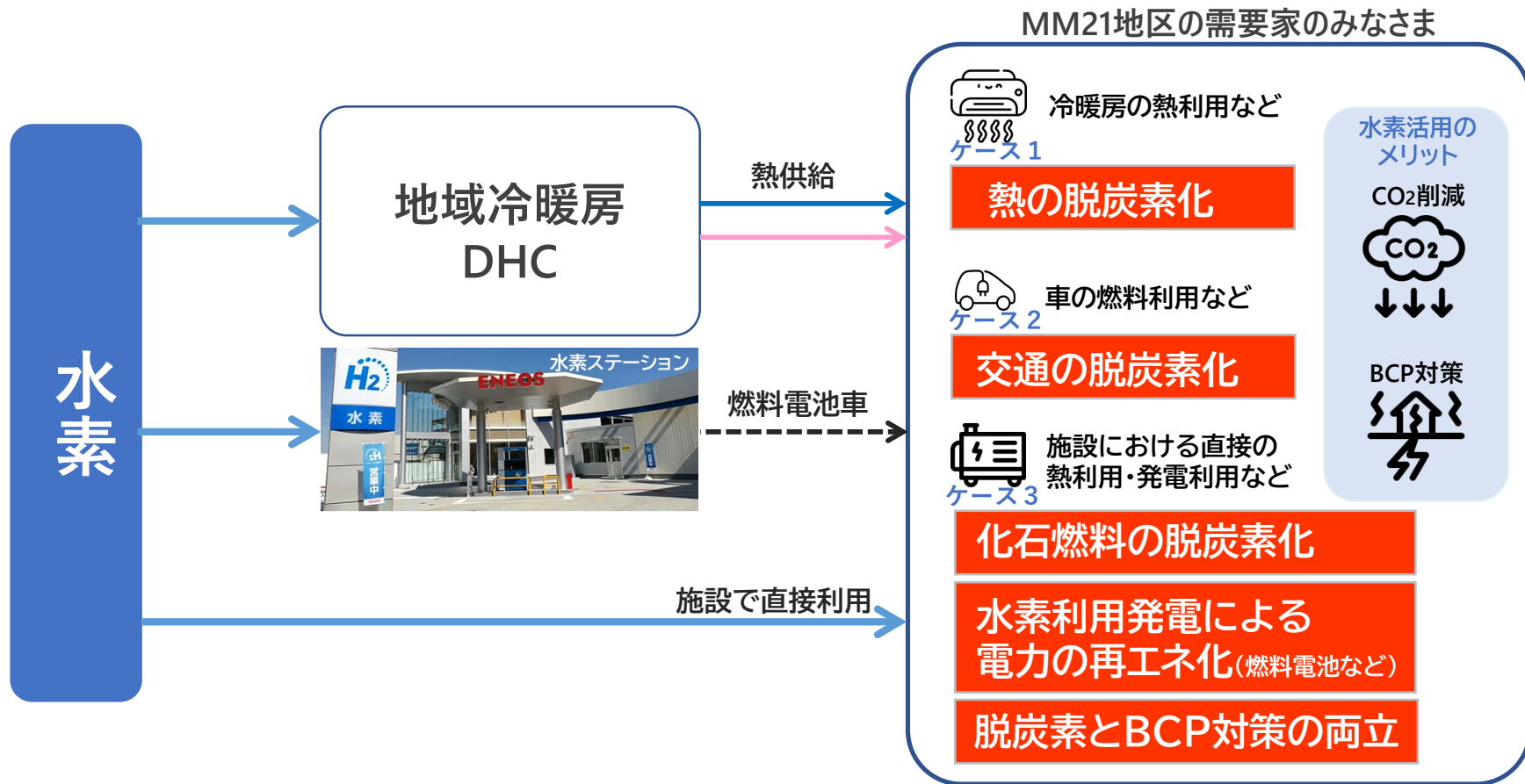
2023年7月 第1回会議の様子

構成員	企業名・団体名・氏名（敬称略）
エネルギー事業者	ENEOS株式会社、東京電力ホールディングス株式会社
みなとみらい21地区事業者等	クイーンズスクエア横浜、京浜急行電鉄株式会社、日産自動車株式会社、パシフィック横浜(株式会社横浜国際平和会議場)、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社、三菱地所株式会社、みなとみらい二十一熱供給株式会社、横浜市
学識経験者	横浜国立大学名誉教授 佐土原 聡

市街地（みなとみらい21地区）での活用イメージ



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER



みなとみらい水素プロジェクトのスケジュール想定



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

第1回会議 設立（7月）

- ・水素にまつわる現状、地域熱供給の取組の理解
- ・脱炭素なまちづくりに向けて水素利活用の可能性検討を進めることを共有

～ヒアリング、調査、課題抽出、国動向調査など～

第2回会議 中間報告（11月頃）

- ・ヒアリング、調査の結果を踏まえた水素活用の可能性の提案
- ・今後の課題に関する整理
- ・水素利活用に関する国の最新動向の整理

～インフラ構想、ロードマップ（案）の作成など～

第3回会議 成果報告（3月頃）

- ・みなとみらい21地区における水素利活用に関するロードマップの作成
- ・今後の対応課題の共有